

第4節 光構内の立会調査

教育学部附属光中学校武道館地盤調査に伴う立会調査

調査地区 光構内

調査期間 平成4年11月4日

調査方法 工事施工時に伴う立会調査

調査結果 工事は附属光中学校武道館新営に先立ち、建設予定地である構内南端のプール東側でボーリングによる地盤調査をおこなうものである。ボーリング調査であるため地下への大きな影響は考えられなかったが、位置確認のため埋蔵文化財資料館が立会った。

ボーリング調査は2地点で行われた。第1地点は北側バスケットコートに近い場所で、深さ12.00mまでサンプリングをおこなった。その堆積状況は、現地表～0.90m埋土、0.90～4.00m黄灰色砂層（貝殻混入）、4.00～4.80m暗灰色砂層、4.80～6.55m黒灰色シルト混じり砂層（貝殻・腐植物混入）、6.55～8.20m暗灰色粘土質砂礫層、8.20～10.00m黒灰色砂質粘土層（腐植物混入）、10.00～12.00m暗灰色片岩風化層である。

第2地点は南端の境界フェンスに近い場所で、深さ8.00mまでサンプリングをおこなった。その堆積状況は、現地表～0.60m埋土、0.60～2.00m茶灰色砂層、2.00～3.80m暗灰色粘土質砂礫層、3.80～5.30m黒灰色砂質粘土層、5.30～6.70m黒灰色風化片岩層、6.70～8.00m青灰色片岩層である。

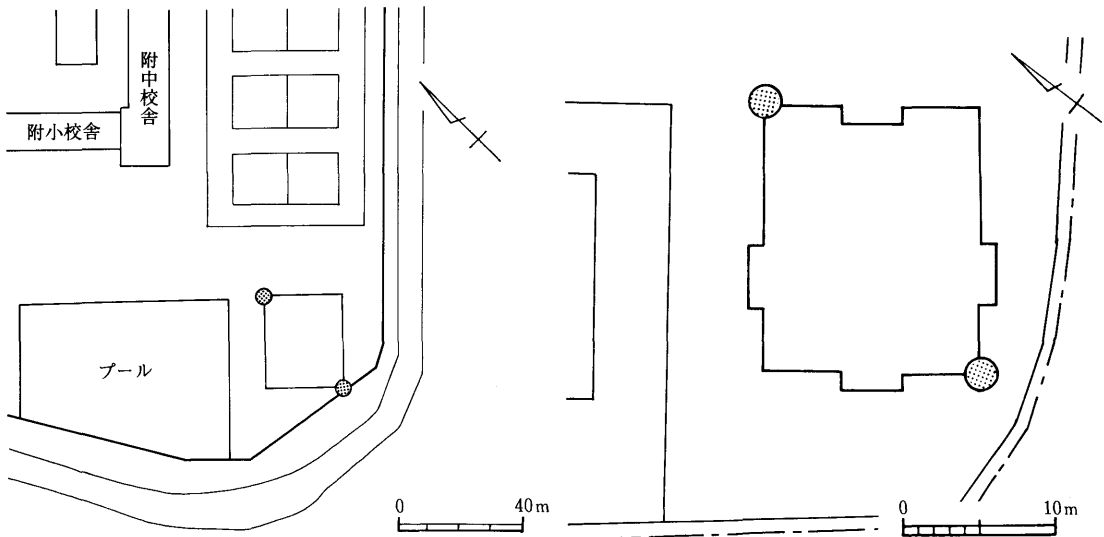


Fig. 65 調査区位置図